

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	空家等対策事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成28年度～
	施策	調和の取れた市域の形成	種別	法定+任意
	基本事業	空き家対策の推進	市民協働	企画立案への参画
予算科目コード	01-080401-12 単独	根拠法令・条例等	空家等対策の推進に関する特別措置法 守谷市空家等対策協議会設置条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
全国的に少子高齢化等による人口減少により空家等は増加傾向となっている。平成27年5月26日の「空家等対策の推進に関する特別措置法」の全面施行を受けて、守谷市においては、次世代への有効な資産として引き継ぐために空家化の予防、空家利活用の促進及び管理不全空家等の解消を目的とするため。	守谷市空家等対策計画を作成し、それに基づき具体的な、空家等の発生抑制に向けた周知や空家等の適正な管理に関する意識向上、空家等の流通の促進への取組、空家等の活用方法に関する情報提供、空家等の相談体制の整備を行う。さらに、特定空家等の認定を行い、助言や指導、勧告等の必要な措置を進める。また利活用については、空家バンク等の制度づくりに取り組む。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
空家等に関する施策を実施し、地域住民の生命、身体又は財産を保護すること及び生活環境の保全と空家等の活用を促進し、地域の活性化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
中古住宅の活用や、特定空家等への対応強化など、空家の活用と適切な管理を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
空家の活用と地域の活性化を図ることを目的に、空家バンクを設立するため要綱の制定、関係機関との調整を行っている。 また、管理不十分な空家について、所有者や管理者が地域に及ぼす影響について認識が薄く放置されている場合がある。 相続、解体費用、売却価格等の個々の諸問題があり、改善はケースバイケースである。	平成29年度中に空家バンク設立ため茨城県宅建協会との協定締結及び特定空家等の認定の準備を行う。 平成30年度中に空家バンク設立、特定空家の準備また空家とならない為の啓発等を行う。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
引続き、関係機関や要綱の制定に向け調整を行い、空家バンクの設立を行う。 また、管理不十分な空家に対し指導等を行い改善を促す。さらに周辺に危険を及ぼす空家等については、特定空家等の認定について検討を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	今後の人口減少に伴い、空家も増える予想されることから引続き空家対策は必要となる。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度 of 取組（評価、課題への対応）
平成28年6月に守谷市空家等対策協議会設置条例を制定し、10月に協議会を設立した。10月～12月にかけて空家等実態調査を行い、520戸の空家等を確認しそれに対してアンケート調査を行った。	平成29年7月に「守谷市空家等対策計画」を作成し、個別の空家苦情に対応し管理不全の空家が減少した。また、危険と思われる空家が2件に対し、指導したことにより解体を行ってもらうことができた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
管理不全空家等の戸数（平成28年空家実態調査におけるB（軽度の損傷がある）・C（重度の損傷がある）判定の空家の戸数）（戸）	0.00	145.00	125.00	115.00	70.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	苦情等により個別に指導を行った空家等については、管理不全が改善されたものが多数であった。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	空家バンクをはじめとする空家の利活用を進め、管理不全の空家等を減少させる。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	0	58	7,087	110	166
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	58	7,087	110	166
正職員人工数（時間数）		0.00	558.00	1,081.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	2,288	4,432	0	0
トータルコスト		0	2,346	11,519	110	166